

# きらり

編集・発行／岡崎市役所市民協働推進課  
平成21年4月発行 通巻14号  
<http://www.ctiy.okazaki.aichi.jp>  
Tel 0564-23-6222 Fax 0564-23-6667

2009  
No.14

昨年11月1日オープンしました図書館交流プラザの市民活動総合支援センターは、男女共同参画社会の実現を目指す男女共同参画センター機能を持った施設です。男女それぞれが個性と能力を発揮し、一人ひとりがいきいきと暮らせる社会を目指すために、相談業務やさまざまな講座、情報、学習活動の場所を提供しています。



## も く じ

シネマ&トーク	2
男女共同参画推進講演会	3
男女共同参画事業について	4
男女共同参画トピックス	6
相談業務について	8



講師：佐々木かをりさん



上智大学卒業。株式会社イー・ウーマン(www.ewoman.co.jp)、株式会社ユニカルインターナショナル(www.unicul.com)の代表取締役社長。「子どものための時間管理術」など講演者としても人気。また、中央教育審議会委員、多摩大学客員教授、TBS「ブロードキャスター」コメンテーターなど幅広く活躍中。2児の母である。著書は「佐々木かをりの手帳術」「計画力おもしろ練習帳」など多数。主役力を高めるためのオリジナル手帳「アクションプランナー」も人気(www.ewoman.co.jp/ap/)。

女と男のフォーラムを平成20年7月12日(土)に岡崎市民会館で開催し、680人の参加がありました。

映画の前に、PTAコーラスによる「千の風になつて」などを歌っていただき、続いて命の尊さ、大切さを感じていただくための「千の風になつて」を上映しました。

講演会には、2児の母親として、また、株式会社イー・ウーマンの代表取締役社長として幅広く活躍の、佐々木かをりさんをお招きいたしました。



「主役力を高める」と題して、ご講演をいただき、私も客席の皆さんも、佐々木さんのお話に引き込まれてしまいました。その時の感想をお伝えします。

皆さんが知っている佐々木かをりさんといえば、コメンテーターとして幅広く活躍してみえる姿だと思います。でも、若くして会社を設立された苦労と努力の一面、また母親としての一面をお聞きするう

ちに、同じ女性としていろいろなことに勇気をいただいたと思います。

## 「主役力とは…」

私も、自分の人生においての主役は、自分だと思っています。しかし、周りに左右されて自分というものを見失ってしまう事が多々あります。それは、「誰かが自分を幸せにしてくれる」という他人まかせな部分があるからだと思います。まず自分で幸せになること、自分が幸せになれば、周りで苦しんでいる人、落ち込んでいる人を助ける事も、思いやる事もできます。それこそ自分が主役となれるわけです。



でも一人だと、苦しい時、辛い時、その場に立ち止まってしまいます。そんな時お互いを支えあえる仲間がいれば、その仲間を押されて、前に進むことができるはずですよ。

## 「人生はジェットコースター」

どうして「ジェットコースター」なのか、皆さんも疑問に思ったと思います。そのジェットコースターは、人生のアップダウンに似ているそうです。

私は、今仕事と家庭の両立が思うように出来ず、不安を抱えています。家族が健康で楽しく生活しているときは、仕事で帰りが遅くなっても何とも思わなかったし、何とも思われなかった。しかし、家族が高齢になって生活に不安(健康)を感じるようになってくると、自分にかかる負担は大きくなり、仕事で遅く帰ってから片付けがあったりすると、疲れているときなどは、「何で私だけが…」と感ずてしまいます。でも、これからは、ジェットコース

ターのように、落ちて行く(辛い)ことを楽しみながら加速して、その勢いで次の頂上めざして登って行こうと思えました。

私は、この講演会を聞いて、「人生はジェットコースターようだ」と言われた事で、どんな時でも人生を楽しむことができる人は、次の幸せを掴むことができるような気がしました。久しぶりにジェットコースターに乗って、楽しさを体感したいと思います。一緒に乗りに行きませんか。

会場の皆さんは、どんなことを感じましたか。

### 50代女性

子育てから開放され、心に穴が開いたような時に、前向きに進むエネルギーを感じました。

### 60代女性

「主役力を高める」のお話聞き、今の自分の気持ちを少しでも高めようと思いました。

### 50代男性

講師もテーマも最高によかった。前向きな気持ちが一番と高まった。映画も感動した。人の命というより、愛がテーマのような気がした。

### 20代女性

自分が、これから生きていくためのバランスのとり方の参考になりました。

### 30代女性

「私」で話をするくせをつけたいと思いました。

### 20代女性

身近な話題で非常に分かりやすく、とても勇気付けられる講演会ですばらしかった。前向きな気持ちになりました。



# 岡崎市男女共同参画推進講演会 “オバサンの経済学”

平成20年12月6日(土)、慶應義塾大学商学部客員教授の中島隆信氏による講演会を開催し、270人の参加がありました。

## 「おばさんの定義」

**A子**「ねえ、私たちって年齢的には中島先生のオバサンの定義のご真ん中だよ。でもさあ、見た目、多少おばさんっぽくはなってきたけど、まだまだ女性を捨てられないよね。」

**B子**「でも、女性ホルモンが分泌されなくなると女性らしさがなくなり、それを維持するための時間やコストをかけるか、あるいは、それらを捨てて、オバサンとして吹っ切って生きていくかを選択する時がくるって中島先生言ってたよね。なんか男性と比べて不平等な感じがするな。」

**A子**「男性は死ぬまで男性ホルモンが出っ放しだから、男らしさを維持する努力はしなくてもいいんだって。それって、するいよね。」

**B子**「でも、男性は、捨てたくても性を捨てられない不自由さがあるって、気の毒かな。その点、女性は、お金と時間と気合があれば、美しくおしゃべることができるんだから、女でよかったかも。逆に、すぐ疲れているときに満員電車に乗ったら、わずかな隙間を逃さず座るオバサン根性も持っている。それは認める。」

## 「オバサンの経済効果」

**A子**「そういうのって、中島先生みたいな経済学者からすると効率的って言うってじゃない。8人掛けの座席に隙間を空けて7人座っているよりも、8人で座ることは確かに効率的だし、コンサートとかで、空いている男子トイレに入ること



は、女子トイレの混雑を減らし、尚且つ、男子トイレの稼働率を上げることになるでしょう。無意識にいいことしてんだなあ。私達」

## 「オバサンの消費活動」

**B子**「それからオバサンのお金の使い方も効率的って、なんか納得。1時間働いて1,000円をもらうよりも、1時間パートを歩いて1,000円安く買い物できれば、そのほうが得だし、毎日買い物しているから、手際よく短時間でより安く買い物をするテクニクあるよね。ただ、安さに惹かれて要らないものまで買っちゃったりすることはあるけどね。」

**A子**「でも、流行にのせられやすいとか、ミーハー気質で『今年の流行色は、○○色ですよ』『こんな形が流行ですよ』といわれると飛びつくから、製造者にとっては、流行の物を製造すればいいので、コストの節約につながるって中島先生言ってたよね。私達、けっこう日本経済に貢献してるんだ。」

## 「妻と夫」

**B子**「でもさあ、私達はアラフィー(50歳前後の世代)だからね。昔だったら人生終わってるし。大学出て、就職して、結婚して、子ども産んで、学校行かせて、やっと時間ができてきたかなって思ったらこの歳だもんね。夫が定年してからずっと家でゴロゴロされるって思ったらちよつと気が重いよ。なんか、よかったのかなあ。私の人生これで……」

**A子**「長年連れ添った夫婦が、一緒に暮らしたくないと思うようになってしまう理由のひとつに、中島先生が、結婚できた安心感から気を使わなくなり、緊張感が無くなるからって言うってたよね。それで、緊張感をどうやって保つかっていうと、お互いに褒め合うような関係を作ることだとか。」

**B子**「でも、面と向かって、言葉で褒めるってできないよね。」

**A子**「褒めなくても、共感できればいいんじゃない

よ。」

**B子**「そっかあ。中島先生が、『学生に結婚相手を選ぶときに、自分が喜んでいときの相手の様子をしっかり観察しなさい。また、相手が喜んでいるときに、自分から喜んでいられるかを問いなさい。お互いに喜ぶことができれば、結婚してからも大丈夫。』って言うってたよね。うーん、一理あるね。」

**A子**「こつこついうのを、経済的な利他主義とやら言うらしい。難しいなあ。利他主義って利己主義の反対で、自分よりも人の利益を優先する考え方だけど、夫にできるかなあ。子どもにはできるけどねえ。おいしいケーキがあったら、一緒においしいねって食べたほうがいいよね。」

**B子**「うん、ダイエットにもなるし。」

## 「オバサンになるかは？」

**A子**「結論！せっかく生きていくなら、人も自分も大切に生きよう。オバサンになるかどうかは自由だけど、知らない間にオバサン化しないよう意識しようね。」

**B子**「自分の自由意思で、自分がいいと思った行動ができるようにしないとね。歳は関係なく、自分に居心地のいいスタイルを選べばいいわけね。そして、相手の自由意思も理解する。思いやりかなあ、結局大事なのは……」

……と、自称オバサン化はしていないはずのアラフィーの会話。

世間の煩わしい「しがらみ」から自由になり、何事にも吹っ切れたオバサンが思わぬ経済効果をもたらしている、という経済学者ならではの見方。皆さんの今後の生き方のヒントになれば、幸いです。



## 講座紹介

図書館交流プラザLibraで開催しました男女共同参画に関わる講座について、恒例となった講座もあれば、男性や親子での新しい企画など、参加者の感想を含めて紹介します。

### 男性のための茶道・華道体験講座



男性のための茶道講座「オトコまえ（男点前）」の茶道、「華道講座「オトコの華道（はなみち）」は、女性が習うことの多い日本の伝統文化を男性にも触れてもらう体験講座です。



### パパと一緒に料理教室 ママは優雅にフラワーアレンジ



とき：12月23日(火) 午前の部、午後の部  
場 所：図書館交流プラザLibra 調理室・創作室  
参加者：21組



内 容：お父さんと子供とでクリスマス料理に挑戦（ローストチキン・サラダ・スープ・ドームケーキ）。お母さんは、その合間にフラワーアレンジとテーブルコーディネート術を学びました。一生懸命作った料理とでもなして、家族揃って食べる食卓がより一層楽しくなりました。

### 感想

パパ・子どもと一緒に作られて楽しかった。

・日頃、コミュニケーションをすることが少ない親子、夫、妻にとつて良い企画だと思



う。  
ママ・テーブルマナーもすべてよかった。同じ材料でも個々に違った作品になり、楽しめた。  
・一人でフラワーアレンジを楽しめ、パパと子どもの会話は増え、夢のような企画だった。

### 「オトコまえ（男点前）」の茶道

とき：1月10日(土)～2月21日(土)

各土曜日(全5回)

場 所：図書館交流プラザLibra 和室

参加者：20名

感想・大変親切に教えていただきよかった。家庭

で抹茶が楽しめればと思っ

ていた。子ども（小2）が茶道をやっていて、興味

があった。

・今までお茶の作法を知らな

かったので、人前で飲むのが苦手だったが、講座でお茶を

飲み、いろいろなことを学ぶことが出来て

よかった。

### 「オトコの華道（はなみち）」

とき：1月11日(日)～2月15日(日)

各日曜日(全5回)

場 所：図書館交流プラザLibra 創作室

参加者：11名

感想・少人数で講師の目が良く届き、初心者にとつて受講しやすかったと思

う。実技のみでなく、歴史や理論も学

べて勉強になった。

・華道の魅力に惹かれた。講師の教義が、

活け方だけではなく、考え方を分かりや

すく説明してくれた事が素晴らしい

だった。



**学区女性団体パネル展**  
 と き：2月26日(木)～3月10日(火)  
 場 所：図書館交流プラザLibra ギャラリー  
 内 容：学区女性団体の活動報告  
 梅園学区女性の会・根石学区女性部  
 六名学区女性の会・三島学区社教女性部  
 岡崎学区社教女性部

### H21年度の男女共同参画関連事業(予定)

講座につきましては、変更される場合がありますので、応募の際には市政だより等でご確認ください。

開催日時	内容	摘要
5月～10月(午後)	おとこの茶道・華道	8回
6月～7月(夜)	ペア英会話Ⅰ	8回
～7月(午後)	新米ママの料理教室Ⅰ	5回
25日(木)(夜)	男女共同参画教育セミナー(1)	
7月11日(土) 12日(日)	シネマ&トーク	8回
～9月(午前)	女性のための健康体操	1回
8月(午前)	パパと一緒に料理教室Ⅰ	1回
20日(木)	男女共同参画教育セミナー(2)	
9月24日(木)	男女共同参画教育セミナー(3)	
～10月(午前)	新米コック・おとこの料理教室Ⅰ	8回
～10月(午前)	女性のためのデジカメ講座	4回
10月22日(木)	男女共同参画教育セミナー(4)	
30日(金) ～31日(土)	日本女性会議2009さかい	
11月26日(木)	男女共同参画教育セミナー(5)	
～12月(午前)	新米ママの料理教室Ⅱ	5回
12月(午前)	パパと一緒に料理教室Ⅱ	1回
H22/1月～3月(夜)	ペアで習う英会話Ⅱ	8回
～3月(午前)	新米コック・おとこの料理教室Ⅱ	8回
2月	学区女性団体パネル展	
3月	男女共同参画情報誌「きらり」発行	
未定	男女共同参画セミナー	4回
未定	男女共同参画推進サポーター養成講座	6回
通年	女性相談・女性のための法律相談 電話相談	

### 新米コック・おとこの料理教室Ⅰ

と き：11月23日(日)～12月21日(日)  
 2月1日(日)～3月1日(日)  
 各日曜日(全5回)  
 場 所：図書館交流プラザLibra 調理室  
 参加者：48名  
 内 容：料理用品の使い方、食材の切り方、だしのとり方などを基礎から学びました。  
 のとり方などを基礎から学びました。  
 感想・大変勉強になり、実践して家族に喜ばれている。  
 ・体験してよかった。作る自信が持てた。  
 ・期待以上に楽しかった。  
 ・料理の基本を学ぶことができてよかった。  
 ・地域の方々と知り合いになれて、非常に楽しかった



### 電話相談員養成講座

と き：6月12日(木)～8月7日(木)  
 各木曜日(全7回)  
 場 所：市役所他  
 参加者：79名  
 内 容：女性のための電話相談を実施するにあたり、女性相談員として活動していただくことを目的に、大学教授・弁護士・臨床心理士から法律制度や技術など、相談員に必要な知識を習得する講座を開催しました。

### 託児サポーター養成講座

と き：9月19日(金)～10月17日(金)  
 各金曜日(全5回)  
 場 所：福祉会館  
 参加者：37名  
 内 容：市の事業における託児サポーターとしての活動していただくことを目的に、大学教授から心構えや基礎知識など、実践に必要な講座を開催しました。

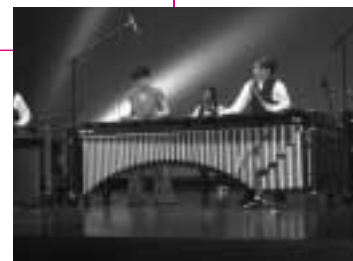


# 男女共同参画トピックス

## 男女共同参画全国都市会議inなら

平成20年11月20日(木)・21日(金)の両日にわたり、奈良市で開催されました。岡崎市からも梅園学区女性会の会の武田会長が参加されました。

<b>11月20日(木)</b>
開場・受付
〈オープニング〉 松本真理子さんマリンバコンサート
〈開会式〉 主催者・来賓挨拶
〈基調講演〉 内閣府大臣官房審議官 齋藤 敦 氏
〈記念講演〉 テーマ：「奈良時代の教育と女医の養成」 講師：東大寺長老 森本 公誠 師
〈分科会〉 ・第1分科会 「ワークライフ・バランスの推進」 ・第2分科会 「まちづくりにおける男女共同参画」 ・第3分科会 「DVのない社会をめざして」 ・第4分科会 「女性のパワーアップのための取組み」 ・第5分科会 「これからの少子化対策と女性の健康」
<b>11月21日(金)</b>
〈全体会〉 分科会報告 総括講義 「笑って考えるワーク・ライフ・バランス －少子高齢社会を乗り越えよう」 講師：東京大学大学院総合文化研究科 瀬地山 角 氏
〈閉会式〉 大会アピール提案



『第19回男女共同参画全国都市会議 inなら』に参加して

全国各地から1500名の参加で開催された大会は、次年度開催は見送りと言うことで、22年度(次次年度)開催される熊本市の挨拶がありました。

「りぶら」も完成したので、是非大会開催に手を上げて、全国から岡崎市を見て頂くよい機会なのだと思います。

最初の内閣府大臣官房審議官による基調講演では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への取り組みにより、地域が豊かにな

るように、少子高齢化社会を乗り越えようとなりました。が、環境的にも今だ男女共同参画ですら難しく、ワーク・ライフ・バランスの啓発・意識改革もまだ徹底されておらず、連携もまだ女性団体だけであるため、今後の課題として、ボラ連・その他多くの団体とネットワークを図ることが重要と感じました。

分科会では「まちづくりにおける男女共同参画」(第2分科会)に出席しました。

町に住んでいるすべての人が豊かに、安心・安全に暮らせる社会は、地域づくり、人と人とのふれあい、コミュニケーションが大事である。また、社会教育委員会の役目も大きいこと。

そこには女性の視点が必要なので、自治会への参加(エンパワーメント)し、よき助言者となるという提言に共感できる講義でした。  
また、東大寺の長老の記念講演(日本では、1300年前から女医として教育を受けていた)は大変印象に残るなど、あっという間の2日間でした。

梅園学区女性の会

会長 武田 清美



## 金沢市校下小立野婦人学級との交流会

石川県金沢市から小立野婦人学級の会員50名の方々が、平成20年9月5日(金)に岡崎市を訪問されました。

他県の女性団体との交流会は、今回が初めてで、学区女性団体の代表として梅園・六名・岡崎・三島学区の女性団体に参加していただきました。それぞれの団体が現状の活動報告を発表・紹介し、活動内容について意見交換を交わしました。短い時間でしたが、有意義な交流会が行われ、これを機会に外とのネットワーク作りをしていきたいという声がありました。



日本女性会議2008とやま

平成20年10月17日(金)・18日(土)の両日にわたり、富山市で開催されました。岡崎市からも矢作南学区女性の会の美空代表と有志の方が参加されました。

10月17日(金)

受付  
 〈開会式〉  
 富山を代表する芸能「おわら踊り」  
 〈基調報告〉  
 「男女共同参画社会の実現を目指して」  
 内閣府男女共同参画局長 板東久美子 氏  
 〈基調講演〉  
 「男女共同参画 何がかわるのか?」  
 講師：中央大学法学部教授 広岡 守穂 氏  
 〈シンポジウム〉  
 「みんなが輝く未来のために」  
 コーディネーター：  
 中央大学法学部教授 広岡 守穂 氏  
 パネリスト：  
 実践女子大学人間社会学部教授 鹿嶋 敬 氏  
 北海道知事 高橋はるみ 氏  
 資生堂取締役執行役員副社長 岩田喜美枝 氏

10月18日(土)

受付  
 〈分科会〉  
 ・第1分科会「子育て」  
 ・第2分科会「食」  
 ・第3分科会「性・性差」  
 ・第4分科会「歴史」  
 ・第5分科会「福祉・介護と超高齢社会」  
 ・第6分科会「国際社会とメディアの役割」  
 ・第7分科会「女性と表現」  
 ・第8分科会「ワーク・ライフ・バランス」  
 ・第9分科会「政策決定における男女共同参画」  
 ・第10分科会「科学」  
 ・第11分科会「豊かな地域づくり」  
 ・第12分科会「健康」  
 ・第13分科会「くらしと環境」  
 〈記念講演〉  
 「土のひびき」  
 講師：歌手 加藤登紀子 氏  
 閉会式



『日本女性会議2008とやま』に参加して  
 日本女性会議は、1984年第一回名古屋大会を皮切りに、男女共同参画にかかわる国内最大級のイベントとして、毎年各地で行われ続けて、四半世紀の歴史を経て、富山市で第25回目を迎えられる意義深い会議でした。このような会議に参加させ



ていただきましたこと、深く感謝申し上げます。  
 会場までの道案内、会場での受付対応を通して、おもてなしの心を学ばせていただきました。  
 「基調報告」「基調講演」を通して、また「シンポジウム」を含め、男女共同参画施策の現状と今後の課題。企業または地域における男女共同参画社会のあり方について、学ばせていただきました。  
 「交流会」では、他県の方々と食事をしながら、いろいろな方々の活動や考え方が、大変参

考になりました。

次の日の第1分科会では、「少子化時代の子育てと教育〜未来を創る子どもたち〜」をテーマに、真剣に子育てしてみえた方や、地域の子どもの支援に真剣に関わって来られた方々のパネルディスカッションでした。何度も胸が熱くなり、何度も涙が込み上げてきました。

全体会では、歌手の加藤登紀子さんを講師に迎え「土のひびき」と題して、記念講演が行なわれました。一人の女性として、妻として、しっかり生きてこられた彼女が話されたことばと歌は、私の心にジンジン伝わってきました。

大会の準備に3年近くかけてこられた富山市の方々の努力が感じられました。また、小学校6年生の子ども達の宣言が大変すばらしく、明るい未来を感じさせていただきました。この大会で多くのことを学ばせていただきましたが、皆さんにお伝えする事はとても難しいと思しますので、やはり一人でも多くの方々に積極的に参加していただくことが一番の方法だと思います。

参加したひとり一人の意識が変わることによって、地域の未来が少しでも明るくなると思います。微力ですが、私なりに地域のために努力を続けて行きたいと思わせていただきました。

矢作南学区社教女性部  
 代表 美空はるみ



# ひとりで悩まないで、ご相談ください。

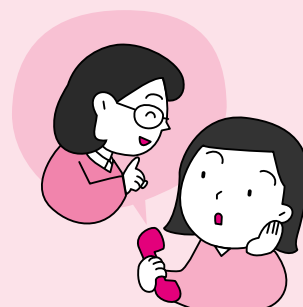
相談担当 図書館交流プラザ市民活動総合支援センター

平成20年11月から新たに電話相談を開始しました。

## ●電話相談

電話 23-3113

相談日 毎週木曜日 10時～12時・13時～15時



平成21年4月から女性相談日(曜日)・時間が変わりました。

※詳しくは、毎月1日の市政だよりをご覧ください。

## ●女性相談

まずは、予約のお電話をください。

予約電話

23-3241 (平日水曜休み)

面接相談日

毎週金曜日

10時～15時20分

## ●女性のための法律相談

まずは、予約のお電話をください。

予約電話

23-3241 (平日水曜休み)

面接相談日

月2回 (第4火曜日・土曜日)

14時～16時

## ●その他の相談先一覧表

相談担当	名称等	電話	相談日時
岡崎市役所 家庭児童相談室	母子相談	0564-23-6745	月～金 (祝除) 8時30分～17時15分
愛知県 女性相談センター	女性悩みごと電話相談	052-913-3300	月～金 (祝除) 9時～21時
	面接相談	052-913-1101	月～金 (祝除) 9時～17時 (要予約)
西三河駐在室 (西三河総合庁舎9階)	女性悩みごと相談	0564-27-2719	月～金 (祝除) 9時～17時
ウイルあいち (愛知県女性総合 センター)	女性のための相談	052-962-2614	火～日 (祝除) 9時～16時 面接相談は要予約
	DV専門電話相談	052-962-2568	第1週のみ水・その他 土 14時～15時30分
	法律相談	052-962-2614	第1週のみ金・その他 土 10時～12時 (要予約)

## 内閣府による「DV相談ナビ」がスタート！ 配偶者からの暴力の相談窓口をご案内します。

配偶者からの暴力被害に悩んでいる方が、身近な相談窓口の存在を知り、相談しやすい環境をつくるため、相談窓口の電話番号を音声ガイドで案内する「DV相談ナビ」が平成21年1月11日からスタートしました。

(DV相談ナビは、通話料がかかります。また、PHS・一部のIP電話からはかかりません。)

一人で悩まず、相談してください

**DV相談ナビ**

配偶者からの暴力(DV)に悩んでいる方へ  
あなたのお近くの相談窓口をお答えします

ここに電話  
**0570-0-55210**

※ 通話料はガイダンスと話し、通話料(1分1円)がかかります。通話料が掛かるとお知らせいたします。

※ PHS、一部のIP電話からはかかりません。また、公共電話からはかかりません。

内閣府 男女共同参画局